

～一生現役、農業は楽しい～

永井 賢治さん(今治市(旧玉川町))

1970年生まれ

JA おちいまばり春菊部会 会長



☆経営概況☆

経営規模：施設野菜 10a 露地野菜 15a 施設柑橘 20a 水稲 40a

栽培品目：春菊、きゅうり、甘長とうがらし、さといも、愛媛果試第28号、水稲

労働力：本人と家族(母、弟)

☆ここがポイント☆

■就農の経緯

大学卒業後、高知県での会社勤めを経て、30歳で今治市内の妻が経営する税理士事務所働くこととなり、地元に戻りました。その後、兼業農家の父親が体調を崩したのをきっかけに農作業や畦畔管理を手伝い始め、徐々に地域の方々からも頼りにされてきたことから、農業で生きることを決意し、2014年11月に就農しました。

■経営の特徴

当初は父親から引き継いだ水稲栽培が中心の経営でしたが、今後の営みに不安を覚え、経営発展の必要性を感じて、2019年に県が主催する「農業経営高度化塾」を受講しました。レベルの高い講座ではありましたが、経営計画を作成する過程で自らの目指すべき経営を具体的に捉えることができ、作成した経営計画をもとに2020年からはJAの推進野菜や施設柑橘を取り入れた複合経営に取り組んでいます。

■地域の仲間との活動「FC菜ベジ」

Uターン後に知り合った地域の同世代7人と旅行や会食を楽しんでいるうちに、一緒に農業を楽しみたいとの思いから、2020年に農業生産グループ「FC菜ベジ」を結成しました。現在はさといも50aの栽培ですが、将来は地域農業を担う組織に発展させたいとも考えています。

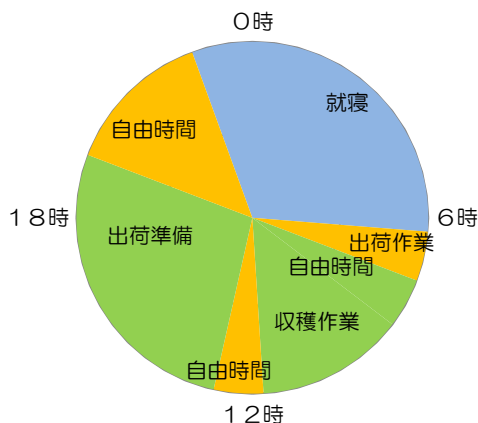


春菊の施設栽培



愛媛果試第28号の栽培(整備中)

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

家族や仲間との時間を大切にし、一緒に過ごす休日を定期的に設けるようにしています。もちろん、繁忙期は休む間もない生活なのですが、それでも、子供の部活の応援や大好きな釣り、そして、毎年恒例の野球観戦など、会社員時代とは違って、曜日にとらわれることなく、自分で時間を作って楽しんでいます。

また、土日には「FC菜べじ」の活動をしており、普段とは違う仲間との農作業を楽しんでいます。

【一週間のライフスタイル（一例）】

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-----------------------|---|--------|---|--------------|---|---|
| 【繁忙期】（予定や天候等により休日をとる） | | | | | | |
| ← 栽培管理・収穫・調整・出荷 → | | | | | | |
| 【普通期】 | | | | | | |
| ← 栽培管理・収穫等 → | | ← 休日 → | | ← 栽培管理・収穫等 → | | |



家族との大切な時間



仲間との野球観戦

☆これからの夢や目指すもの☆

現在は、施設・露地野菜と施設柑橘および水稻の複合経営ですが、今後は**柑橘を中心に規模を拡大し、経営の安定を目指します。自分で考え、自分のやりたいことを一生続けて死ぬまで収入を得たい**とっており、その思いを実現できる**農業にはやりがいを感じています**。また、地域の美しい田園風景が大好きなので、これからも仲間とともに、**この美しい風景を守り続けたい**と考えています。

☆メッセージ☆

農業は体力的に大変ですが、自分で作って売って儲けることができる**経営者としての面白みと新たな栽培方法や栽培品目に挑戦できるわくわく感、失敗でも成功でもすべての経験が自分を高めてくれる仕事**です。